

ダイハツディーゼルが納入したMTU機関搭載 新型護衛艦「のしろ」命名・進水式

6月22日、新型護衛艦(FFM)もがみ型3番艦の命名・進水式が三菱重工業株式会社長崎造船所において、挙行され「のしろ」と名付けられました。

「のしろ」は秋田県を流れる「能代川」に由来し、海上自衛隊様で用いるのは、ちくご型護衛艦の11番艦「のしろ」(2003年除籍)に続いて2回目です。

本 FFM を含め同シリーズ艦には当社が納入した MTU 機関(発電機装置用に計3台)が搭載されます。当社は三菱重工業株式会社様から6隻分の御注文を頂いており、1 番艦「もがみ」、2 番艦「くまの」が既に進水を済ませております。

FFM は 2019 年～2023 年度の「中期防衛力整備計画」に基づき、2023 年度までに 10 隻が建造される計画となっており、「のしろ」は 2022 年度就役の予定です。



もがみ型3番艦「のしろ」(三菱重工業株式会社様 提供)

以上

【お問い合わせ先】

艦艇事業部 松川
TEL:03-3279-0810

管理統括本部総務部 中尾
TEL:06-6454-2331